マスターズのページ青春の人は炊ゆ

第44回全日本マスターズ、個人三賞に輝いたアスリートたち

秋の季節の10月7日から3日間、山口県の維新みらいふスタジアムで第44回全日本マスターズ陸上競技選手権大会が行われ、男女合わせて28もの日本新記録が生まれたほか、大会新、同タイが数多く誕生した。マスターズ・アスリートの意気の高さを示したなかで、最優秀選手賞、男女の各優秀選手賞を獲得した選手に的を絞り特集した。

MVPに輝いた 八本友和さん(46歳・埼玉)

天候は晴れたり、ときたま雨が降ったりの秋の空だった。なかには雨のレースになった人もおり、悲喜こもごものドラマが生まれたなかで、最も輝いたマスターズ・アスリートはM45・400mHで55秒80のマスターズ日本新をマークし、トップに立った八本友和さん(46歳・埼玉)だ。

M45・400mHの旧日本記録は56秒91で、14年ぶりの更新。八本さんは「レース当日の体調は普通でした。レースではケガをしないように注意しながらも、冒険(攻めのレース)はしました」と話す。

タイムについては「う~ん。できればもう少し縮めたかった。5年前だったか、42歳のとき、54秒39で走ったので。コロナが続いて練習が思ったようにできず、力が落ちたようで」と、ちょっぴり残念そう。

とはいえ、400mHの力走で得たのが最優秀選手賞だ。いわば最高の栄誉賞に当たる別名・織田幹雄賞を獲得したのである。これで八本さんはM40クラスの54秒39と合わせ、M45クラスの日本記録保持者となった。

陸上は中学生のときから始め、高校 は当時住んでいた千葉県内の銚子西 (現・市立銚子)高へ。高校で400mH を始めたが、インターハイの出場経験 はない。借しくも南関東大会で落ちた が、わずか0秒01差で全国大会を逃 したそうだ。

マスターズ陸上へ入会したのは35歳のときだった。この年の2012年9月に岡山市であった第33回全日本マスターズ陸上に参戦。M35・400mHで53秒25と当時の同クラス日本新で優勝を飾った。

全日本マスターズ陸上への出場は「3、4回かな」と言うように多くないが、4年前の第40回記念国際・全日本マスターズ陸上には、M40・200mに出て23秒62で6位だった。

167 cm、56 kgの八本さん。今後の目標は「M45、50、55 とクラスが上がっていくにつれて、記録もそれ相応に出していきたい」と意欲的だ。今大会には妻の理恵子さんは子育てで欠場したが、第40回記念大会のときはW40・100mで14秒19の6位。200mは29秒60で3位に食い込んでいる。

来年の全日本マスターズ陸上は京都 市の予定とされているが「できる限り 夫妻で参加したい」と八本さん。ぜひ、 そろってご参加を。

投てきの黒崎弘明さん(90歳・新潟)が 男子・優秀選手賞を獲得

卒寿といえば90歳。年齢に負けずに投てきを得意とする黒崎弘明さん(新潟)がパワーを見せつけた。重さ3kgの砲丸をサークルの中から突き出すと、8m34の地点へ。従来のM90・砲丸投のマスターズ日本記録は7m38で、10年ぶりの更新となった。

もう一つ。400gのやりを握り、助

走路から投げると、22m92まで飛んだ。こちらも M90クラスの日本新だ。やり投の従来の日本記録は20m78。昨年、平田数秋さん(91歳・愛媛)がつくったばかり。平田さんは今回、M90・ハンマー投に出場し、16m83で1位だった。

黒崎さんも平田さんも耳こそ不自由ではあるが、元気そのもの。投てき2種目で日本新を出した黒崎さんは、今大会だけでなく、春先には円盤投で21m56の日本新をつくったという。円盤投のM90クラスの日本記録は元気な頃、その名を高めていた木村喜三さん(群馬)が90歳の2001年にマークした19m46だった。今回、黒崎さんが22年ぶりに記録を書き換えたことになる。

投てきだけではない。9月24日に福井県であった第40回北陸マスターズ陸上で、初めて立五段跳を試みた。これが何とM90・立五段跳の記録である8m02を上回る8m14を記したのだ。初挑戦での日本新。

投てきでもハンマー投で21m61の 日本記録を上回る、25m35のスロー イングをした、とのこと。まさに万能 だ。

黒崎さんは82歳からマスターズ陸上に加入。近年では18年の第39回全日本マスターズ陸上鳥取大会のM85クラスに出て、砲丸投9m05、円盤投22m10と2種目を制した。翌19年の第40回記念・群馬大会では砲丸投8m99で連勝したが、円盤投は19m26

で2位だった。

マスターズ陸上を経験し8年目とな った黒崎さん。「毎日の朝練は欠かせ ない。歳は取っても頑張れば記録は伸 びるよしとにっこり。乞うご期待。

射止めた女子・優秀選手賞 短距離の松林玲佳さん(25歳・高知)

速かった。強かった。女子短距離の 松林玲佳さん(25歳・高知)だ。 W25·100mで11秒97(+0.4)、200 mが24秒32 (-0.1) で、100mは参 加3選手中、2位が13秒台だったか ら、いかに飛び抜けていたか。200m はたった1人でのレースとなったが、 W25クラスの日本記録25秒51を上回 った。

優秀選手賞には「ほかにも活躍され た方がいらっしゃるのに、私が…」と、 照れながらもうれしそう。驚かされる のはマスターズの活躍だけではない。 ほぼ1週間後の鹿児島国体にも高知代 表として成年女子の100mと300mで 力走した。100m11秒83はともかく、 300mでは38秒57で7位入賞を果た している。

国体だけではない。6月の日本選手 権にも出場。100mは予選を突破でき なかったが、200mでは自己ベストの 23秒93 (±0.0) で6位入賞の実績を 残した。また、9月の全日本実業団対 抗でも100m11秒91(+0.4/予選11 秒77、+2.4)、200m24秒09(±0.0) で2種目ともに5位入賞だ。

松林さんは地元の社会人陸上クラブ (MMG) に所属し、時間の許す限り 練習に励んでいる。高知県立岡豊高に 学び、陸上部へ。高校時代の100mベ ストは12秒台で、現在は11秒69(2022 年)まで上げている。

マスターズ陸上への入会は19歳か ら。高校を出て専門学校に通う頃の入 会。20歳となる18年度の記録は、W - 24 · 60m は 8 秒 07 で全国ランク 2 位だったが、100mの12秒78と200m の25秒07は共に1位だった。これら の記録はいずれも四国内の競技会で出 したもので、200mの記録はクラス別

の日本記録だった。

19年には群馬の第40回記念の全日 本マスターズ陸上に出て、W-24・ 100m12秒58、200m25秒26と2種目 で1位となった。今後の目標は「日本 選手権の舞台でもっと上を目指したい し、マスターズでも、さらなる記録を」 だそうだ。頑張ってほしい。



以上、大賞に輝いた3選手を特集し たが、来月号でも全日本マスターズで 活躍した方々に焦点を当てたい。ほか に2023全日本マスターズ競歩大会の 成績を掲載予定。



93で走り6位入賞。8月の富士北麓トライアルで23秒75 (+0.4) と記録更新

第44回全日本マスターズで誕生した日本記録

〔男子〕

クラス	種目	記録	選手名	月日
M25	400m	47秒95	土屋 順哉(27歳・静岡)	10/09
M25	5000mW	23分06秒60	小林 建一(26歳・群馬)	10/07
M45	400 m H	55秒80	八本 友和(46歳・埼玉)	10/07
M50	4×400mR	3分47秒91	大阪(走順) / 乾喜廣(50歳)、森義行(55歳)、 乾誠文(53歳)、江口慶博(51歳)	10/07
M50	走高跳	1 m90	福本 義永(50歳・京都)	10/09
M55	3000mSC	10分55秒77	後口 洋史(55歳・埼玉)	10/07
M60	200m	25秒48(+1.1)	長谷川 浩(62歳・神奈川)	10/07
M60	4×100mR	49秒04	神奈川(走順) 杉崎和彦(61歳)、藤原新(62歳)、 小林裕(60歳)、長谷川浩(62歳)	10/09
M65	棒高跳	3 m51	加藤 幸(67歳・鳥取)	10/07
M85	やり投	32m54	吉川 修(87歳・新潟)	10/08
M90	砲丸投	8 m34	黒崎 弘明(90歳・新潟)	10/08
M90	やり投	22m92	黒崎 弘明(90歳・新潟)	10/08

〔女子〕

クラス	種目	記録	選手名	月日
W-24	2000mSC	9分28秒20	桑原 菜摘(24歳・島根)	10/07
W25	100m	11秒97(+0.4)	松林 玲佳(25歳・高知)	10/09
W25	200m	24秒32(-0.1)	松林 玲佳(25歳・高知)	10/08
W25	やり投	44m60	杉本 知佳(25歳・高知)	10/08
W45	3000mW	15分59秒15	池 由佳(48歳・高知)	10/08
W60	4×100mR	1 分00秒09	神奈川(走順) / 杉崎百合子(62歳)、高橋葉子(64歳)、藤原恵美子(61歳)、歌川由美(63歳)	10/09
W60	4×100mR	1 分00秒74	愛知(走順) / 林啓海(63歳)、碓井由紀子(62歳)、 石川順子(62歳)、八代香津子(60歳)	10/09
W60	4×400mR	5分08秒08	神奈川(走順) / 高橋葉子(64歳)、歌川由美(63歳)、 堀良子(70歳)、益田はるみ(61歳)	10/07
W60	4×400mR	5 分24秒77	愛知(走順) / 林啓海(63歳)、石川順子(62歳)、 中山淳子(65歳)、碓井由紀子(62歳)	10/07
W60	やり投	29m90	八代香津子(60歳・愛知)	10/09
W65	1500m	5 分43秒33	中山 淳子(65歳・愛知)	10/08
W65	3000m	11分53秒78	中山 淳子(65歳・愛知)	10/07
W70	400m	1分19秒46	堀 良子(70歳・神奈川)	10/08
W80	走幅跳	2 m98(+0.4)	渡川 孝子(80歳・徳島)	10/08
W85	ハンマー投	18m60	苅部 裕子(85歳・兵庫)	10/09
W85	ハンマー投	15m75	福田 外枝(86歳・石川)	10/09